

取扱説明書

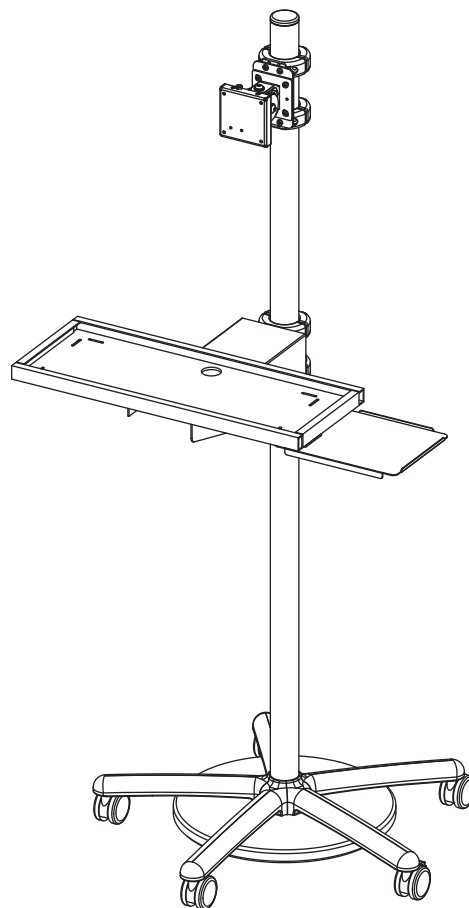
モバイルワークスタンド2

ジョイントアーム + キーボードトレイ

型番

FFP-MWS2-JF (固定キーボードトレイ)

FFP-MWS2-JT (可動キーボードトレイ)



お買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。
- 特に「安全上のご注意」は必ずお読みください。
- お読みになった後は、いつでも取り出せる場所に大切に保管してください。

目次

■ 安全上のご注意	1
■ 製品概要	3
■ 梱包内容	4
■ クイックリリースのディスプレイ側金具を取り外す	5
■ 取り外した金具をディスプレイに取り付ける	5
■ ディスプレイを取り付ける	6
■ 関節のトルク調整をする	6
■ アームの高さ調整をする	7
■ キャスターの固定方法について	8
■ キーボードトレイの高さ調整をする（固定/可動タイプ共通）	9
■ マウストレイの引き出し	9
■ キーボードトレイの折りたたみ（可動タイプのみ）	9
■ 保証書	10




安全上のご注意

必ずお守りください




お使いになる人や他の人への危害、物的損害を未然に防止するため、必ずお守りいただきたいことを、次の表示で区分しています。





 警告 この表示の欄は「死亡または重症を負うことが想定される危害の程度」です。	 注意 この表示の欄は「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」です。
---	---

お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。




 この絵表示は、絶対にしてはいけない「禁止」内容です。	 この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
 この絵表示は、必ず実行していただきたい「指示」内容です。	 この絵表示は、気をつけていただきたい「注意」内容です。
 この絵表示は、指に気をつけていただきたい「注意」内容です。	



⚠ 警告

-  本製品は、VESA企画に準拠したディスプレイを対象とした製品です。それ以外のディスプレイは取り付けないでください。アーム・ディスプレイの落下・破損などによる事故の原因となります。通常のディスプレイより厚みが多い場合、搭載可能重量値より性能が下がり、アームの垂れが起こる可能性があります。
-  本製品は、耐荷重を定めております。表記の耐荷重を超えた質量のディスプレイを取り付けると本製品やディスプレイの落下などによる破損・けがの原因となります。
-  ディ스플레이の設置後は、メンテナンス時以外にネジをゆるめたり、はずしたりしないでください。本製品やディスプレイの落下などによる破損・けがの原因となります。

-  ディ스플레이の本製品への取り付け・取り外しは、必ず2人以上で作業を行ってください。1人での作業はディスプレイの落下・破損など事故の原因となります。
-  壊れた部品を使用しないでください。本製品やディスプレイの落下などによる破損・けがの原因となります。万一、部品が壊れた場合には販売店にご相談ください。
-  本製品の改造・変更は行わないでください。本製品やディスプレイの落下などによる破損・けがの原因となります。
-  本製品を移動させる際は、転倒にご注意ください。本製品の破損・けがの原因となります。

⚠ 注意

-  アーム各関節部の締め付け調整は、必ず取扱説明書の手順に従ってください。
-  ディ스플레이の厚みや画面サイズが大きい場合は、表記の耐荷重値より性能が下がる場合があります。
-  安全確保のため、ボルトやネジ類は所定の場所に確実に締め付けてください。

-  アーム本体カバーや各関節の調整ボルトは絶対に外さないでください。アーム・ディスプレイの落下・破損などによる事故の原因となります。
-  人命に関わる医療機器および自身の損傷に至る可能性のある装置を取り付ける場合には、定期的にアーム関節部分のトルク調整を行ってください。

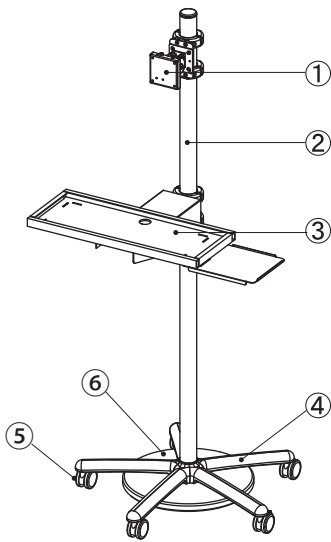
本製品は生産より出荷に至るまで厳重に検査しておりますが、万一製品に破損またはご使用に支障をきたす場合は、誠に恐れ入りますが購入先または下記宛先までお問合せください。

日本フォームサービス株式会社

電話：03-3636-0011(代表) ホームページ：<http://www.forvice.co.jp> メール：info@forvice.co.jp

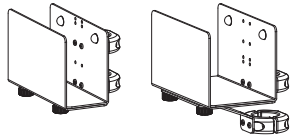
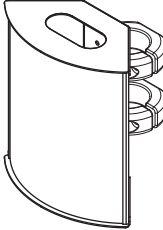
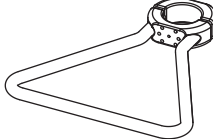
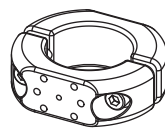
製品概要

モバイルワークスタンド2 (ジョイントアーム仕様)



No.	名 称
①	ジョイントアーム
②	ポール
③	キーボードトレイ (固定タイプ) FFP-MWS2-JF キーボードトレイ (可動タイプ) FFP-MWS2-JT
④	レッグ
⑤	キャスター
⑥	ウエイト

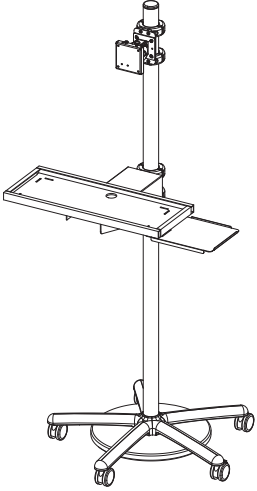
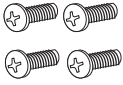
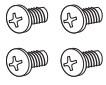
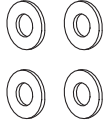
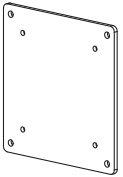


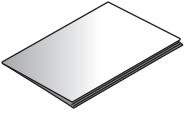
型番	FFP-MWS2-JF/JT
耐荷重	9kg

CPUホルダー (オプション品)		ケーブル収納ボックス (オプション品)		ハンドル (オプション品)		ポールクランプ (オプション品)	
 MWS2-CPU-S MWS2-CPU-B							
型番	MWS2-CPU-S/B	型番	MWS2-KB	型番	MWS2-HD	型番	MWS2-PC

※オプション品につきましては、それぞれの取扱説明書を参照してください。

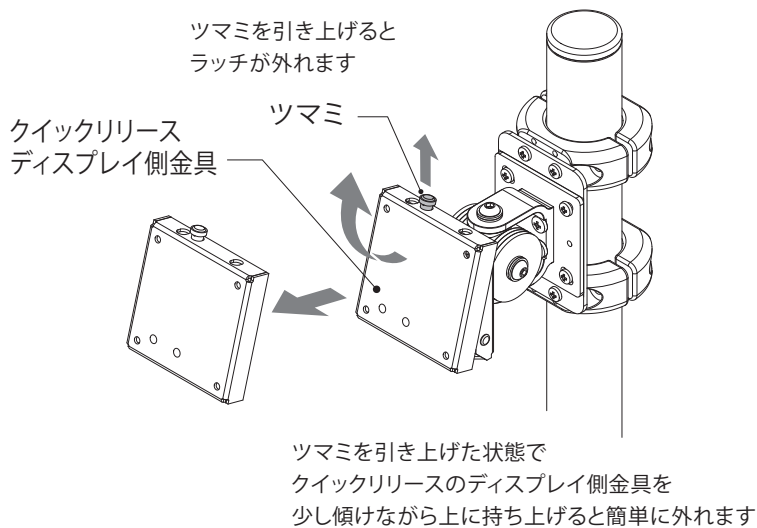
梱包内容

FFP-MWS2-JF/JT 部品、付属品

 <p>スタンド本体…1式</p>	 <p>バインド小ネジ (M4×12) …4本</p>	 <p>バインド小ネジ (M4×6) …4本</p>	 <p>平ワッシャー (M4) …4枚</p>
	 <p>VESA変換プレート…1枚</p>	 <p>六角レンチ (対辺5mm) …1本</p>	 <p>六角レンチ (対辺6mm) …1本</p>
 <p>取扱説明書 …1部</p>			

クイックリリースのディスプレイ側金具を取り外す

ジョイントアームのディスプレイ側上部のつまみを上に引き上げ、クイックリリースのディスプレイ側金具を取り外してください。

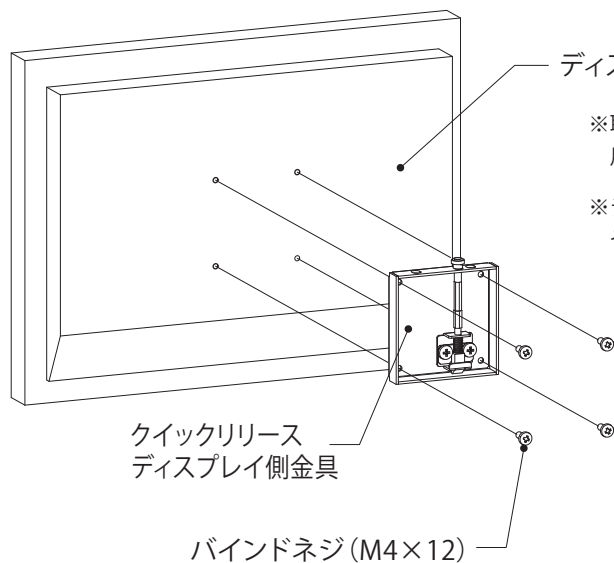


取り外した金具をディスプレイに取り付ける

取り外したクイックリリースのディスプレイ側金具を付属の「バインド小ネジ (M4×12)」でディスプレイに取り付けてください。

使用する工具

プラスドライバー (別売)

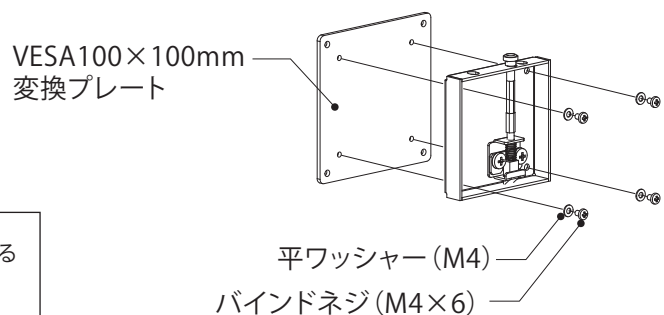


※取り付けるディスプレイに VESA 規格準拠または専用アタッチメントが用意されていることをご確認ください。

※ディスプレイメーカーがアームへの取り付けネジを添付している際は、そちらのネジをご使用ください。

VESA100×100mm用ディスプレイを取り付ける場合

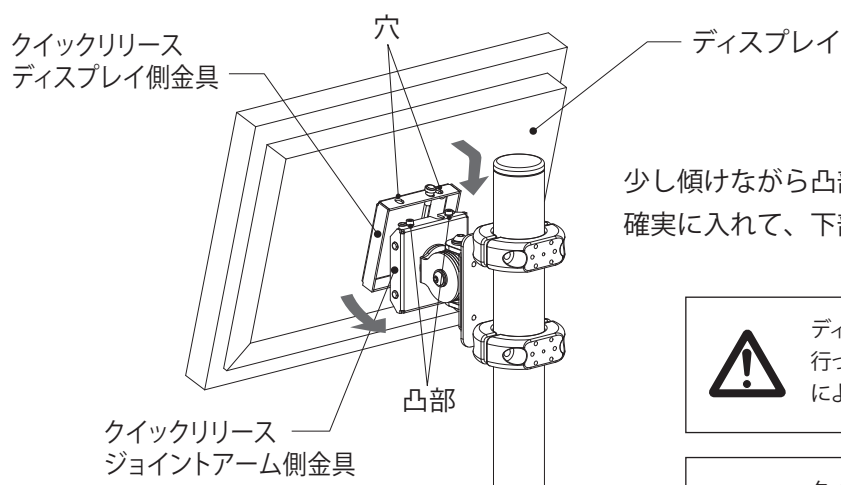
付属の「バインドネジ (M4×6)」と「平ワッシャー (M4)」で「VESA変換プレート」を取り付けてください。



確実にネジを締め付けてください。ディスプレイの落下による破損、けがの原因になります。

ディスプレイを取り付ける

ディスプレイに取り付けたクイックリリースのディスプレイ側金具をジョイントアーム側のクイックリリースに上からはめて、押し込みます。



少し傾けながら凸部をディスプレイ側金具の穴に
確実に入れて、下部を押し込みはめ込んでください。



ディスプレイの取り付け・取り外しは、必ず2人以上で作業を行ってください。1人での作業はディスプレイの落下・破損などによる事故の原因となります。



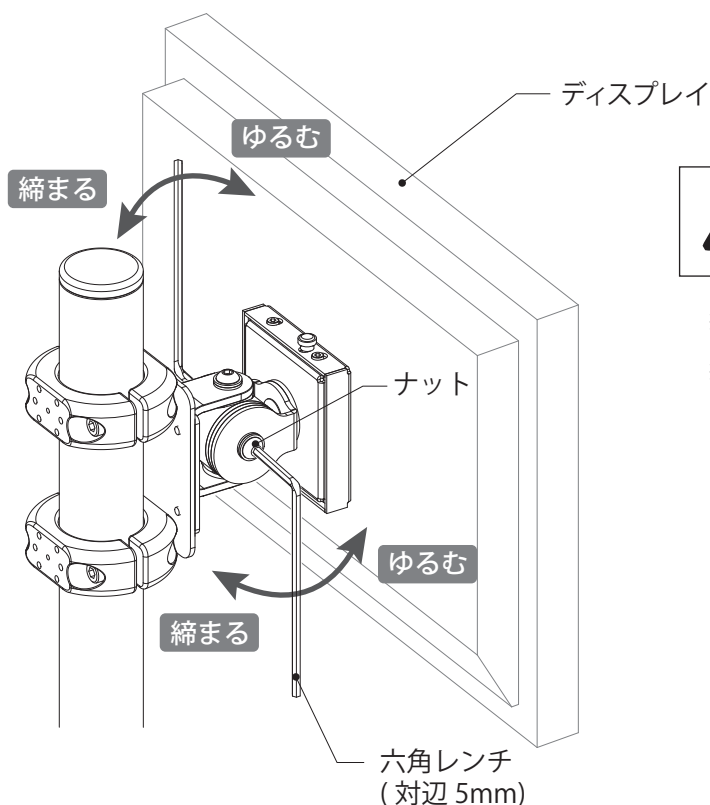
クイックリリース部は360°回転します。ディスプレイの取り外し・取り付けの際はディスプレイが落下しないよう可動部を押さえつけながら作業を行ってください。

関節のトルク調整をする

- 関節には左右にナットがあり、このナットの締め付けによりトルクを調整し、ディスプレイのバランスを保ちます。
- 付属の「六角レンチ（対辺5mm）」で、左右均一にジョイントアームの関節のトルクを調整してください。調整を行う際は、ディスプレイをしっかりと持ち、固定して行ってください。

使用する工具

六角レンチ（対辺5mm）



調整ネジの取り外しは絶対に行わないでください。
モニターの落下による破損、けがの原因になります。

※ナットは緩めすぎないように気をつけてください。

※18インチディスプレイをご使用になる場合は、
前面側の金具を強く締め付ける必要があります。

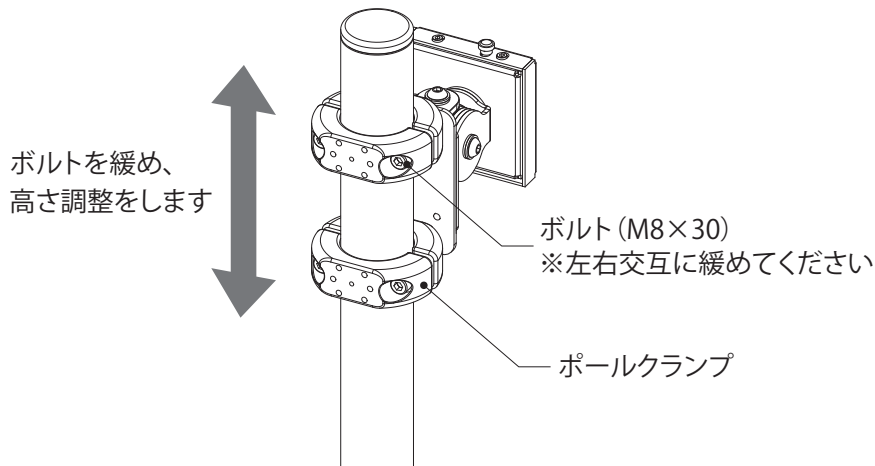
アームの高さ調整をする

調整をする前にアームに取り付けてあるディスプレイを取り外してください。
付属の「六角レンチ(対辺6mm)」を使い、ポールクランプの「ボルト(M8×30)」を適度に緩め、高さ調整してください。

使用する工具

六角レンチ(対辺6mm)

※ボルトは取り外さないでください。高さ調整後は「ボルト(M8×30)」をしっかりと固定します。



作業は必ず2人以上で行って下さい。アームの落下による破損、けがの危険性があります。



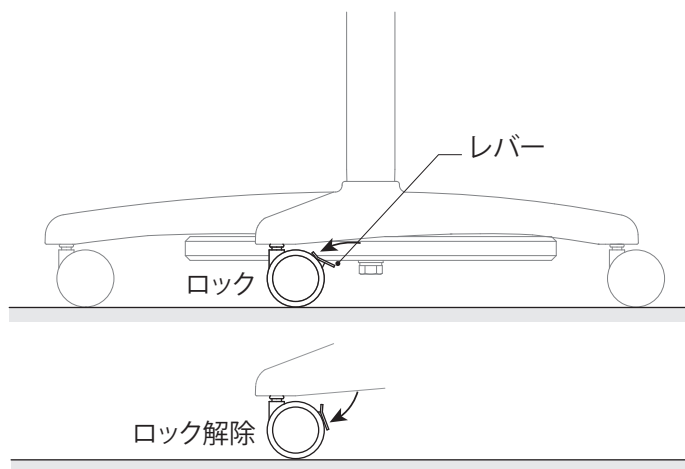
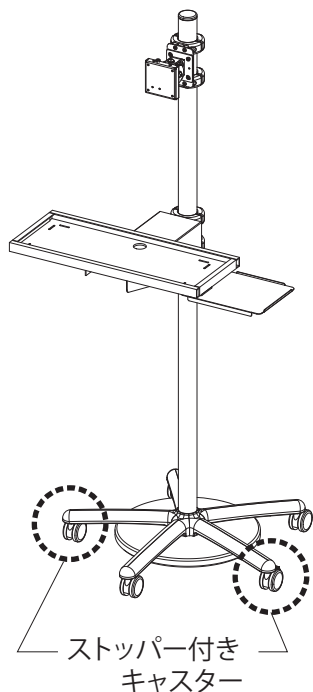
確実にネジ・ボルトを締め付けてください。アームやディスプレイの落下による破損、けがの危険性があります。



ボルトを緩めすぎないように気をつけてください。アームの落下による破損、けがの危険性があります。

キャスターの固定方法について

- ベースの5本の脚のうち、下図の2箇所のキャスターにはストッパーがついていますので、設置場所で固定することができます。
- ストッパーのレバー上部を押すとロックできます。ロックを解除する場合は、レバーの下部を押してください。



移動時以外は、キャスターのロックをかけてください。
地震などの揺れで、本製品が自走して破損やけがの原因となります。



やわらかい床面や傾いたところなど不安定な場所に設置しないでください。本製品の転倒やけがの原因となります。

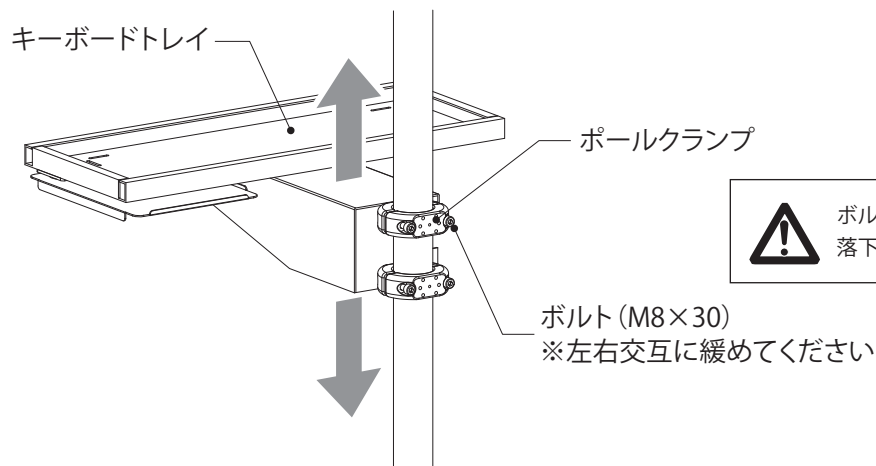
キーボードトレイの高さ調整をする（固定/可動タイプ共通）

アームの高さ調整と同様に付属の「六角レンチ（対辺6mm）」を使い、ポールクランプの「ボルト（M8×30）」を適度に緩め、高さ調整をします。

使用する工具

六角レンチ（対辺6mm）

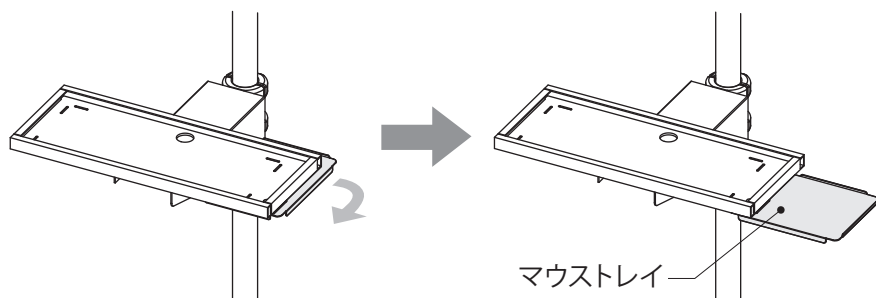
※ボルトは取り外さないでください。高さ調整後は「ボルト（M8×30）」を左右均一にしっかりと締め付けてください。



ボルトを緩めすぎないように気をつけてください。トレイの落下による破損、けがの危険性があります。

マウストレイの引き出し（固定/可動タイプ共通）

キーボードトレイの下に収納されたマウストレイを回転させて引き出し、任意の位置でご使用ください。



キーボードトレイの折りたたみ（可動タイプのみ）

キーボードを搭載したままトレイを折りたたむことができます。

